

トンボロ



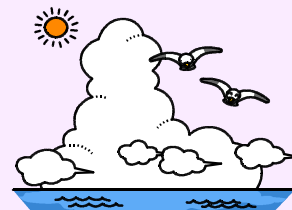
自主・気魄・根性

発行
令和6年6月21日
薩摩川内市立里中学校
薩摩川内市里町里3377
☎09969-3-2002
責任者
校長 加藤 晃一

里中学校への思い（里中学校校歌より）

校長 加藤 晃一

一 春まだあさく波しるく 寄せる潮にのりあおむ
ここの槌の磯野に 我が里中は輝けり
二 自主ののぼりも高らかに 鹿の子百合さくおかのもと
高き理想に手をつなぐ 我が里中に誉れあれ
三 波濤のリズム大らかに 東支那海の朝ぼらけ
海山幸はかぎりなく 我が里中の意気高し
四 黒潮わきて巖をかみ よせる颪風も子守歌
希望はてなき夢むすぶ 我が里中に栄あれ



これは、「里中の歌」の歌詞です。昭和39年まで里中学校で歌われていました。この頃の校舎は、藪下の海岸沿に建てられており、海岸の情景を連想する歌詞が多く使われています。当時、里中学校で勉強やスポーツに励んでおられた里の諸先輩方は、懐かしく感じられるのではないのでしょうか。
さて、現在の校歌は、昭和40年に誕生しています。昭和39年に里村のほぼ中央に白磁の新校舎が移転したのを機に、新しい校歌も制定されました。この年に里中学校に勤務されていた中村順一先生が作詞を、作曲は、井上先生がそれぞれ担当されました。両先生ともに鹿児島県の教諭、教頭、校長を歴任され、長く鹿児島県の教育の発展にご尽力されました。中村先生は、里村の教育長も務められました。

一 紺青の色果てしなく 遠目木山を仰ぎつつ
この里邑の中心に 白磁の色もあざやかに そびゆる学び舎が里中
二 とよみ流るる黒潮の 八重の潮路をゆくがごと
この里邑の磯のべに 理想をめざす若人の つどえる学び舎が里中
三 窮みも知らぬ大空に 光芒ひきて人工衛星はとど
この里邑の陸のべに 時代にさきがけと眉あげ 努むる学び舎が里中

「緑豊かな山々や大海原を臨む里の中央に、一際、白く輝く里中学校。雄大な自然に育まれ、理想を抱き、時代を先駆け学問に励む若人が集う里中学校」
校歌の歌詞には、里中学校と中学生への大きな誇りと期待が窺えます。

放課後になると、里中学校の校庭では、「お願いします！」の元気な声から小学生のスポーツ少年団の練習が始まります。また、地域のスポーツ大会や運動会、行事等で里中学校に地域の方々が集います。中学生の学びの場であると同時に、甑島の方々の集いの場となっている里中学校の姿をうれしく思います。今後とも、里中学校と里中学生をよりよくお願いいたします。

お薦めの一冊 中野教頭



「三国志」横山 光輝
中学生の時、テレビの人形劇から漫画、小説と関連する本を夢中で読みました。三国時代は中国で3000年前、わずかに1000年間の話ですが、今でも人気があるのも、魅力的な登場人物と「三顧の礼」や「苦肉の策」など名場面が物語に色を添えてくれるからです。私を歴史好きにさせた一冊です。

上級学校について知る

5月30日、上級学校説明会が行われました。公立高校6校、私立高校6校の上級学校に説明をしていただきました。本校では、早期に進路に関する意識を高めさせる目的から、2年生も参加しています。高校の先生から整った施設や教育過程の話や聞いた生徒の感想から、「どの学校も魅力的だった。」「寮のことを詳しく知りたい。」などの記述があり、進路実現に向けて、力強く踏み出す機会となりました。



涙の数だけ成長できる～地区総体終わる

6月・7日に川薩地区中学校総合体育大会が開催されました。多くの競技が県大会への出場権を賭けて競う大会であり、負けてしまえば、一部の部活動を除き、3年生は引退という、最も重要な意味をもつ大会でもありました。各キャプテンの試合の様子と大会を終えた感想から、様々な気づきがあったようです。「涙の数だけ成長できる」次に生かせる大会となりました。

バレーボール同好会 日笠山 杏

☆ 試合の様子
男子 予選敗退
女子 予選敗退
☆ 大会を終えて
海星中と合同で参加するために多くの方がサポートしてくださいました。女子は念願の1セット取ることが出来ました！これからも感謝の気持ちを忘れずにしていきます。



柔道部 石原 航介

☆ 試合の様子
男子団体4位（県大会出場）
石原航介 優勝
小村優斗 準優勝
後藤伝真 準優勝
橋野啓斗 準優勝
男子全員県大会出場
☆ 大会を終えて
今回の大会では、あと1人の勝ち引き分けで優勝のところで負けてしまい4位という結果だった。この悔しさをバネに県大会では、力を発揮したい。



卓球部 是枝 彩葉

☆ 試合の様子
団体戦は、気持ちで絶対に他校に負けないように大きな声と拍手で助け合ってプレー出来ました。
野口愛翔 個人県大会出場
☆ 大会を終えて
大きな成績は残せませんでした。卓球に打ち込んで、熱中することで、忍耐力や継続力が身に付き、中学校のいい思い出の1つになりました。



剣道部 西園 怜

☆ 試合の様子
男女とも県大会出場を目標に頑張っていました。
男女団体 3位
西園怜 個人3位県大会出場
☆ 大会を終えて
男女団体ともあと一歩で県大会を逃し、悔しかった。今までやった練習の全てを出し切ったのでよかった。



おめでとう

○「歯と口の健康週間」図画・ポスターコンクール 金賞 辻 希果 ○新体カテストA段階 小川千咲 石原航介

7月の行事

- 2日(火) 授業参観・学校保健委員会
学級PTA・家庭教育学級
- 9日(火) 文教委員会学校訪問
- 12日(金) 甑島方言講演会Ⅰ, 2年
- 13日(土) 遠泳大会(16日予備日)
- 19日(金) 終業式

3年生トンボロの風訪問

3年生が「ふるコミュ科」の中で、花実咲の花園づくりで共に活動する福祉作業所を訪問しました。インタビューを通して、作業所の役割や来所している方々の思いを知ることが出来ました。今後、共同で活動する花園づくりの見通しを確認できました。



1年生に里中Tシャツ贈呈

1年生に里中Tシャツの贈呈式がありました。4年前、生徒会の発案で「コロナ禍が行事などでお揃いのTシャツを着ることでみんなの心が1つになれば」との思いで始まりました。西園彩里さんは「Tシャツを着て、里中生になったと実感しました。」と話しました。

